

施策評価表

施策番号	- - 1	重点プラン	1安全で暮らしやすい	施策名	中心市街地にふさわしい駅北口周辺の整備	所管課	駅北口土地区画整理事業事務所	関係課			
------	-------	-------	------------	-----	---------------------	-----	----------------	-----	--	--	--

1. 施策の概要

対象	駅北口土地区画整理事業区域内の土地所有者・借地権者及び和光市駅の利用者
目的	和光市駅北口周辺の計画的な市街地形成を推進し、安全な歩行空間の確保、防災性の向上など、安全で暮らしやすいまちづくりを進めます。
現状 (計画策定時)	駅北口周辺は、駅へのアクセスとしての生活道路の整備が十分でなく、通勤、通学時において安全が確保されているとはいえません。また、駅前広場もバスやタクシーなどの公共交通機関の乗降スペースが狭く、歩行者と車両が交錯している状態です。 市民意識調査でも、市街地整備の満足度は、南地域の42.4%に対して、北地域は35%と低く、さらに、市民まちづくり討議会や市民提案でも、駅北口の早期整備が望まれています。 平成18年に現在の駅北口土地区画整理事業施行地区(優先施行地区)約11.3haを定め、平成20年12月に事業計画を決定し、事業を推進しています。
課題 (計画策定時)	駅北口周辺は南口と比べて、駅前広場や都市計画道路が未整備なことから、商業集積や土地の有効利用が停滞しており、駅前の魅力と安全性を向上させる必要があります。 また、駅北口周辺は、宅地の無秩序な開発や建物の老朽化により、防災性の低下も懸念されており、良好な市街地の形成が求められています。 駅北口土地区画整理事業については、市の北側だけの課題ではなく、全体の課題とし、最重要課題として積極的に取り組む必要があります。

2. 施策指標の達成度(定量的評価)

計画 指標 に基づく	指標名	単位	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32	平成27年度目標値 に対する進捗率 (%)
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
計 画 指 標	駅北口土地区画整理事業 の整備率	%	目標値			0.0	0.0			34.2	100.0	0.0
			実績値	0.0	0.0	0.0						
補 足 指 標			目標値									
			実績値									

施策指標の達成度に関する評価

A 目標をほぼ達成する B 目標をやや下回る C 目標を下回る D 目標を大幅に下回る	A	平成24年度末に仮換地指定を行い、平成25年度から工事に着手していく計画である。
--	---	--

3. 施策の取組内容の達成度(定性的評価)

取組 番号	取組内容	取組内容の評価		事務事業名	課所名	備考	事務事業 評価結果	事業費						今後の方向性						
		活動の成果・進捗状況	未達成事項・ 解決していない課題					平成22年度決算額(千円)			平成23年度決算額(千円)			平成24年度予算額(千円)			構成事 業の受 当性	優先度		
								総額 (A)	特定財源 (B)	一般財源 (A-B)	総額 (A)	特定財源 (B)	一般財源 (A-B)	総額 (A)	特定財源 (B)	一般財源 (A-B)		1次 評価	2次 評価	
	道路・公園・駅前 広場の整備	両側歩道の整備、歩行者専用道路の整備、用途地域による幅員確保といった見直しを行い、道路等の公共施設整備設計図を修正した。これにより換地の位置、形状、地積の設計ができ、概略仮換地案を作成。権利者へ個別説明会を実施した。また、駅前広場整備に向けては、ワークショップにより基本構想イメージ図を作成した。道路については、占用等関係機関と協議を行い、工事着手準備をおこなっている。	仮換地指定に向け、概略仮換地案への意見、要望に対し、合意形成を図りながら進めていくことが必要。	駅北口地区土地区画整理推進	駅北口土地区画整理事業	このまま継続		181,963	0	181,963	110,555		110,555	154,331	84,774	69,557		A	B	
	良好な商業地・ 住宅地の形成	設計図の修正に併せ事業成果の維持、保全を図る目的から、街並み形成の用途地域、地区計画について、説明会を実施し周知を行った。	地区計画の内容等を精査し、まちづくりへの理解を求めていく必要がある。	駅北口地区土地区画整理推進(重複)	駅北口土地区画整理事業						0		0		0					

4. これまでの取組に関する施策全体の総合評価

総合評価	理由(施策全体の進捗状況・解決していない課題など)
A 順調に進んでいる B ほぼ順調に進んでいる C あまり順調に進んでいない D 順調に進んでいない	B
当市のサービス水準	
A 高い B 普通 C 低い	B
	近隣他市では、新座市が新座駅北口土地区画整理事業を施行しています。<施行面積>和光市:11.3ha、新座市:31.6ha<平均減分率>和光市:21.67%、新座市:23.76%<総事業費>和光市:約99億円、新座市:105億円

5. 今後の施策の方向性(施策の推進に向けた今後の施策の展開や事業の見直し等)[1次評価(所管課)]

1次 評 価	平成23年度で作成した概略仮換地案について修正を行い、合意形成後、平成24年度に仮換地指定を実施する。平成25年度から工事着手の予定であり、効率的な建物移転計画と工事施行計画により、事業期間、コストの縮減を図り推進していく。	対象者の方向性 (増減)(%)	基本目標に 対する貢献度
		100	A

6. 今後の施策の方向性[2次評価(行政評価委員会)]

2次 評 価	計画に基づいた着実な事業の実施、地権者との合意形成を図り、平成25年度からの整備を確かなものとする。	サービス水準	コスト
		現状	方向性(目標水準)
		B	(B)

7. 今後の施策の方向性(次年度行政経営方針)

サービス水準	コスト	コメント
現状	方向性	

施策評価表

施策番号	- - 6	重点プラン	1 安全で暮らしやすい	施策名	安全で快適な道路の整備	所管課	道路安全課	関係課	都市整備課		
------	-------	-------	-------------	-----	-------------	-----	-------	-----	-------	--	--

1. 施策の概要

対象	和光市道を利用する在住、在勤等の利用者及び広場の利用者
目的	市民の目線に合わせた道路の整備と歩道の段差解消を行い、市民が安心して歩けるようにする。和光市道及び広場を維持管理することにより、快適な道路・広場空間が維持され、安心安全な利用状態となっている。
現状 (計画策定時)	狭隘道路が多く、歩行者のすれ違いができないなど、幼児、高齢者等に安全な歩行空間の整備が遅れています。また、歩道と車道の段差があり、通行の障害となっています。市民提案でも、道路に関する提案のうち6割近くが歩道の整備を訴えています。このことから、平成19年に中長期的な展望に立った計画的な道路整備を推進するため、道路整備実施計画を策定しています。また、和光市駅南口広場については、駅利用者にとって公共交通を利用しやすい環境を整えるよう、整備を進めています。市の北側の地域については、土地区画整理区域でもあり、今後は住宅整備と一体となった道路整備が求められています。
課題 (計画策定時)	道路整備実施計画に基づく拡幅整備では、地権者の合意形成などを進めていくことが必要です。国道や県道については危険箇所が多く、歩行者の安全性が確保されていない箇所があることから、改善していくことが求められています。

2. 施策指標の達成度(定量的評価)

計画 策定 指標	指標名	単位	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H32	平成27年度目標値 に対する進捗率 (%)		
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		目標値	実績値
計画 策定 指標	道路整備実施計画の進捗度	%	目標値			1.0	1.4			20.0	30.0	3.5		
	実績値			0.7	0.7	0.7								
計画 策定 指標	歩道の拡幅整備延長	Km	目標値			29.1	29.2			38.8	40.7	75.0		
	実績値			29.0	29.0	29.1								
補足 指標	目標値													
	実績値													
施策指標の達成度に関する評価										理由				
A 目標をほぼ達成する				B 目標をやや下回る				C				事業費の確保が困難なため		
C 目標を下回る				D 目標を大幅に下回る										

3. 施策の取組内容の達成度(定性的評価)

取組 番号	取組内容	取組内容の評価		事務事業名	課所名	備考	事務事業 評価結果	事業費						今後の方向性						
		活動の成果・進捗状況	未達成事項・ 解決していない課題					平成22年度決算額(千円)			平成23年度決算額(千円)			平成24年度予算額(千円)			構成事 業の妥 当性	優先度		
								総額 (A)	特定財源 (B)	一般財源 (A-B)	総額 (A)	特定財源 (B)	一般財源 (A-B)	総額 (A)	特定財源 (B)	一般財源 (A-B)		1次 評価	2次 評価	
	計画的な道路整備の推進	施設の改修・新たな整備は厳しい財政状況にあるため計画通りの進捗は難しい。	財源不足による道路整備の遅延、道路補修の必要箇所の増加	道路管理	道路安全課		このまま継続	30,630	0	30,630	28,361		28,361	34,914	12	34,902	B	B		
				道路維持	道路安全課		改善して継続	45,149	0	45,149	55,721		55,721	57,248	0	57,248	B	B		
				水路管理・改修	道路安全課		改善して継続	8,006	0	8,006	5,905		5,905	8,846	0	8,846	B	B		
				道路整備	道路安全課		改善して継続	83,898	0	83,898	67,480		67,480	110,055	0	110,055	C	C		
				道路補修	道路安全課		改善して継続	109,203	0	109,203	115,765		115,765	200,339	0	200,339	A	A		
	環境に配慮した道路の整備	施設の改修・新たな整備は厳しい財政状況にあるため計画通りの進捗は難しい。	植樹帯管理の不徹底	道路維持(重複)	道路安全課															
	駅南口周辺の整備・維持管理	維持管理を年間を通じて行っている	トイレなどの施設の経年劣化が進んでいる	駅南口広場維持管理	都市整備課		このまま継続	4,005	0	4,005	3,872		3,872	5,425	0	5,425	A	B		
	歩道の拡幅整備・バリアフリー化の推進	施設の改修・新たな整備は厳しい財政状況にあるため計画通りの進捗は難しい。	歩道拡幅用地の確保が難しい。	道路整備(重複)	道路安全課															
	狭あい道路の歩行者の安全性確保	施設の改修・新たな整備は厳しい財政状況にあるため計画通りの進捗は難しい。	道路拡幅用地の確保が難しい。	道路整備(重複)	道路安全課															

施策評価表

施策番号	- - 6	重点プラン	1 安全で暮らしやすい	施策名	安全で快適な道路の整備
------	-------	-------	-------------	-----	-------------

所管課	道路安全課	関係課	都市整備課	
-----	-------	-----	-------	--

4. これまでの取組に関する施策全体の総合評価

総合評価	理由(施策全体の進捗状況・解決していない課題など)
A 順調に進んでいる B ほぼ順調に進んでいる C あまり順調に進んでいない D 順調に進んでいない	厳しい財政状況及び、近隣地権者の同意を得ることが難しく、計画的な道路整備の進捗が望めない。 また、同様に十分な道路維持補修を行っていない。
C	
当市のサービス水準	理由(近隣他市との比較)
A 高い B 普通 C 低い	道路整備が遅れている。 道路維持補修においても段階的な部分補修にとどまっている。
C	

5. 今後の施策の方向性(施策の推進に向けた今後の施策の展開や事業の見直し等)【1次評価(所管課)】

1次評価	道路整備計画の推進、道路の適切な維持管理に努める。	対象者の方向性(増減)(%)	基本目標に対する貢献度
		100	A

6. 今後の施策の方向性【2次評価(行政評価委員会)】

2次評価	予算が抑制されている中で、整備が遅れていることは認識している。今後についても、新規事業を実施することは難しいことには変わりはなく、安全性、緊急性などを総合的に判断し、道路補修を中心に事業を取捨選択しながら行うこと。	サービス水準		コスト
		現状	方向性(目標水準)	方向性
		C	(C)	

7. 今後の施策の方向性(次年度行政経営方針)

サービス水準		コスト		コメント
現状	方向性	現状	方向性	